



あきる野市・栗原市 中学生友好親善交流会 〜今年度は あきる野市で開催〜

7月31日(水)から8月2日(金)までの3日間、あきる野市と宮城県栗原市の中学生による友好親善交流会が行われました。

この事業は、「五日市憲法草案」起草者の千葉卓三郎の生誕地が宮城県栗原市(旧志波姫町)であることがきっかけで、平成元年から行われています。今年度は、栗原市から中学生36人と引率者10人があきる野市を訪れました。

交流会では、生徒会交流、部活動交流、植樹体験、市内めぐり、手すき和紙体験を行いました。

生徒会交流では、あきる野市6校、栗原市8校の各生徒会代表が、学校紹介を行った後、グループに分かれてテーマ別に討論し、発表しました。活発な意見交換を通して、各中学校が、自校の生徒会活動を見つめ直し、より良いものにする機会となりました。

部活動交流では、バレーボール部による交流を行いました。男子は増戸中学校と栗原市立瀨峰中学校、女子は東中学校・西中学校と栗原市立瀨峰中学校が

対戦しました。男女とも猛暑に負けない熱戦が繰り広げられ、互いの健闘を讃え合う交流ができました。

植樹体験、市内めぐり、手すき和紙体験では、あきる野市の自然、歴史、文化に触れながら、友好を深める交流ができました。

3日間の交流会を通して、これまで築いてきた両市の友好親善の輪をさらに広げることができました。旧五日市町と旧志波姫町が友好姉妹都市となつてから30周年に当たる来年度へ向けて、両市のより一層の発展が期待されます。



新たな情報を共有できた生徒会交流



白熱した試合が行われた部活動交流

スポーツ推進計画を 策定しました



スポーツ推進計画の基本理念

「みんなでつくる『スポーツ都市あきる野』」誰もが元気でスポーツに親しむ健康なまちを目指して〜としました。そして、すべての年代の方がスポーツを気軽に楽しむことができる施策や事業を掲げ、競技スポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや介護予防のためのトレーニング、気分転換に行う軽い体操など、目的を持ったすべての身体活動をスポーツとして捉えています。

また、本計画の策定にあたっては、国や都の考え方を踏まえ、スポーツ推進に関する様々な施策を総合的に体系化し、施策を明確に定め、市の実情に即した実行性のある計画としています。

今後、スポーツ関係団体等と連携を図りながら、平成25年度から8年間「スポーツ都市あきる野」のまちづくりを推進して行く計画です。

本計画は、市ホームページ、生涯学習スポーツ課、市内体育施設及び各図書館等でご覧ください。

「第二次あきる野市 子ども読書活動推進計画」 を策定しました

子どもの読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものです。

このため、子どもが自然に読書に親しみ、読書が習慣となるよう、平成30年3月までの5か年を計画期間とする「第二次あきる野市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この第二次計画では、読書から遠ざかる傾向の強い小学校高学年から中学生・高校生を対象とした事業の充実や読書環境の整備を重点目標にとりあげ、積極的に取組みを進めます。

また、第一次で重点事業として取組んだ「ブックスタート」など、乳幼児期の子どもの対象に、早い段階から絵本と出会うきっかけをつくる取組も継続して行います。

特に中学生・高校生を対象にした取組として、図書館では、中学生・高校生の読書傾向に配

慮した選書を行うとともに、思春期の時期にこそ読んでもらいたい本のリストを作成します。また、図書館ホームページで積極的に情報を発信していきます。

五日市図書館では、改修工事終了後の2月から「ヤングアダルト(YA)・コーナー」を設置します。既設の東部図書館工と合わせ、中学生・高校生にも資料の展示や、ディスプレイ作りに参加してもらおうなど、楽しめる棚作りを目指します。



東部エルのYAコーナー

図書館のパスワードは、中学生から登録ができます。登録するとパソコンや携帯電話、スマートフォンで、希望の本を予約したり、近くの図書館へ取り寄せたりすることが出来ます。勉強や部活で忙しく時間がなくても、話題の本や興味のある本を簡単に見つけられ、手に取ることも出来ます。

人生を豊かにする一冊の本と出会うチャンスです。図書館を上手に活用していただければと思っています。